

8 読書や図書館等の利用や意思疎通に困難を伴う障がい者の支援に関する取組の実施

障がい者の読書や図書館等の利用に対する関心に応えるため、図書館で勤務する職員を対象とした研修の実施に加えて、社会教育施設においてアクセシブルな書籍や読書バリアフリー法等の啓発を行うことで、障がい者の読書環境の整備に向けた関係者や地域住民の理解を促進した。

① 視覚障がい者等の読書環境の整備に向けた研修等の実施

○令和6年度図書館活動支援事業（学校図書館環境改善）

- ・日時 令和6年7月9日（火）
会場 北海道旭川高等支援学校
内容 講義、情報提供
- ・日時 令和6年8月21日（水）
会場 北海道札幌聾学校
内容 講義、ワークショップ、情報提供

※上記の参加者は、各校の学校図書館担当職員 等

○令和6年度学校図書館担当職員講習

- ・テーマ「特別支援教育の現状と課題」
- ・日時 令和6年8月28日（水）
- ・講師 専修大学文学部教授、放送大学客員教授 野口武悟氏
- ・参加 学校司書、学校図書館担当職員、司書教諭、市町村教育委員会職員 等
31名
- ・内容 発達障がいの理解と支援、特別支援教育をめぐる関係法規、インクルーシブ教育

② アクセシブルな書籍の充実や活用に向けた啓発

○北海道立青少年体験活動支援施設ネイパルでのアクセシブルな書籍の展示

- ・実施施設、期間 ネイパル深川、9月19日（木）～30日（月）
ネイパル森、9月24日（火）～10月4日（金）
ネイパル足寄、10月1日（火）～13日（日）
ネイパル厚岸、11月7日（木）～15日（金）
ネイパル北見、1月6日（月）～2月3日（月）

- ・協力 北海道立図書館

○その他

- ・「第64回北海道図書館大会」での「サピエ図書館」についての説明
- ・「令和6年度 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道」でのバリアフリー図書展示コーナーの設置
- ・「障がい者の生涯学習に関する理解促進のためのキャラバン隊」でのアクセシブルな書籍等の量的拡充や質の向上、読書バリアフリー法についての説明

令和6年度学校図書館担当職員講習 実施要項

1 目的

学校図書館法第6条第1項及び第2項に基づき、学校図書館の利活用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（学校司書）の養成に係る基礎講習を実施し配置促進に寄与するとともに、本道における学校図書館を担当する教職員等の資質向上を図る。

2 主催

北海道教育委員会

3 対象と受講方法

道内在住の学校司書、学校図書館を担当する職員（事務職員、実習助手等）・支援員等、図書館ボランティア、PTA等で下記(2)以外の者

→全講座を受講する。

※ただし、本講習の目的に鑑み、次の者についても受講を認める。

(1) 道内の学校に勤務する校長及び教員

(2) 司書又は学校図書館司書教諭の有資格者、若しくは本講習の過年度修了者

→希望する講座のみの受講を認める（要事前登録）が、修了認定を希望する場合は全講座を受講する。

4 定員

100名程度

5 講習期間及び日程等

(1) 令和6年（2024年）7月24日～10月17日

（講義終了の約2週間後から、順次オンデマンド配信（令和7年1月末まで受講可能））

(2) 日程 ※ 詳細は別紙1「講習概要」で御確認ください。

| 実施日 | 講習名【時間数】 | 内容 |
|--------------------|--|--|
| 7/24（水）、 /29（月） | I 学校図書館基礎講習 【6時間】 | 1 学校図書館の理念と教育的意義 2 教育行政と学校図書館 3 学校図書館の経営 4 学校図書館の施設・設備 5 学校図書館メディアの種類と管理、提供 6 学校図書館活動 |
| 8/2（金）、 /7（水） | II 図書館資料・情報の管理と活用講習 【4時間】 | 1,2 コレクションの形成の理論と方法①② 3 情報技術と現代社会、情報資源の発達と図書館サービス |
| 8/21（水）、 /28（水） | III 学校図書館担当職員が 知っておきたい学校教育 【4時間】 | 1 学校教育の意義と目標、学習指導要領等 2 児童生徒の心身の発達と学習過程A（乳幼児～小学校）又はB（中学生～高校生） ※A又はBを選択 |

| 実施日 | 講習名【時間数】 | 内 容 |
|---|------------------------------------|--|
| | | 3 特別支援教育の現状と課題 4 現代の学校と地域課題 |
| 9/4 (水)、 /11 (水)、 /18 (水) | IV 学校図書館サービス力 向上講習 【6時間】 | 1,2 学校図書館の環境整備①②、広報・渉外活動 3,4 ガイダンス、レファレンス①② 5 児童生徒及び教職員への各種支援 |
| 9/25 (水) 10/1 (火)、 /8 (火)、 /11 (金)、 /17 (木) | V 学習指導・読書指導力 向上講習 【8時間】 | 1 読書の意義と目的、子どもの読書活動の推進 2 発達段階に応じた図書館メディアの選択、情報活用能力の育成 3 子どもの本の理解、評価A（～小学生）又はB（中学生～高校生） ※A又はBを選択 4～8 児童生徒と本をつなぐ方法①②③④⑤ ・読み聞かせ、電子図書館等 ・ブックトーク ・地域とつながる活動 ・パスファインダー ・学習支援、授業の実践事例 |

※オンデマンド配信:Zoom 実施日約2週間後～1月末迄

6 講習の実施方法

Web 会議システム Zoom によりオンライン（同時双方向型）で受講していただきます。

※ 都合により受講できなかった講座については、後日オンデマンドでの受講も認めます。

※ 資料配付や講習開始後の連絡事項及びオンデマンド受講については、道教委のアカウントを利用した Google Workspace for Education 内の「Google Classroom」を使用しますので、受講を申し込まれる際には、受講環境について事前に準備をお願いします。（別紙2「オンライン受講環境について」を参照の上、申し込んでください。）

※ 受講方法の詳細については、受講者決定後に直接本人あてメールにより通知します。

7 受講申込み手続き

(1) 提出書類

ア 「学校図書館担当職員講習受講申込書」

イ 「受講承諾書」（学校や図書館の職員が所属長の承諾を受け、職務として受講する場合）

(2) 提出先及び提出期限

ア 提出先

道立学校の職員等は当該学校長に、市町村立学校及び図書館の職員等は市町村教育委員会に提出してください。

イ 提出期限

道立学校長及び市町村教育委員会が指定する日

(3) 道立学校長及び市町村教育委員会は、受講希望者を取りまとめの上、受講申込者名簿及び(1)の提出書類を6月25日（火）までに所管の教育局あて提出してください。

(4) 各教育局は、管内分の受講希望者を取りまとめの上、受講申込者名簿及び(1)の提出書類を、7月2日(火)までに11の担当者あて提出してください。

8 受講者の決定及び通知

当課において受講者を決定し、7月上旬までに通知します。決定した方には、オンライン受講のためのID、パスワードをお知らせします。

なお、受講申込みが定員を大幅に超えた場合は、受講できない場合がありますので、あらかじめ御承知おきください。

9 修了認定について

本講習Ⅰ～Ⅴの全講習を受講し(オンデマンド視聴も可)、全ての受講内容ごとのリフレクシオンシートの提出により履修状況等を確認できた方には、本講習の修了を認定し、修了証を交付します。(送料は原則自己負担)

10 受講に要する経費

受講料は無料です。ただし、オンライン接続に係る通信料、受講承諾書及び修了証の送付に係る経費は原則自己負担となります。

11 お問い合わせ先

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課地学協働推進係 足立、米谷

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館8階

TEL: 011-204-5744 (係直通) / 011-231-4111 (内線 35-523)

FAX: 011-232-2236

E-Mail: adachi.sanae@pref.hokkaido.lg.jp

12 留意事項

(1) 学校図書館司書教諭の資格を取得するには、大学等が行う「司書教諭講習」を修了する必要があります。本講習は道教委が独自に実施するものであり、修了認定は今後の資格取得において修得単位等の実績となりませんのでご注意ください。

(2) 受講者のいる学校においては、講習の内容について校内で共有し、学校図書館の組織的な運営の参考にしていただくようお願いします。

令和6年度学校図書館担当職員講習概要

【講義テーマ・内容等】

※事前課題等については、随時連絡をします。

| | | | | |
|--------------------|------|-----|----|----|
| I 学校図書館基礎講習 | 総時間数 | 6時間 | 形式 | 講義 |
|--------------------|------|-----|----|----|

ねらい： 学校図書館の教育的意義や学校司書の職務などの基本的事項について理解を深める。

| テーマ | 分数 | 内容 | 留意事項 | 型式 |
|-------------------------|----|--|-------------------|----|
| 1 学校図書館の理念と教育的意義 | 60 | ・学校教育における学校図書館の理念と意義 ・学校図書館の機能と役割 ・学校図書館ガイドライン | | 講義 |
| 2 教育行政と学校図書館 | 60 | ・学校図書館の関係法規 ・学校図書館の歴史と現状 ・学校図書館の国内外の動向 | 学校図書館法を事前によく読んでおく | 講義 |
| 3 学校図書館の経営（人、資料、予算、評価等） | 60 | ・学校経営における学校図書館 ・学習指導要領、教育課程と学校図書館 ・司書教諭と学校司書等の職務・役割分担と協働 ・学校図書館におけるマネジメントサイクル | 学校図書館法を事前によく読んでおく | 講義 |
| 4 学校図書館の施設・設備 | 60 | ・学校図書館の環境の在り方 ・環境の整備・充実 | | 講義 |
| 5 学校図書館メディアの種類と管理、提供 | 60 | ・学校図書館の情報資源（メディア）の種類（バリアフリー資料を含む） ・コレクション構築の在り方 ・情報資源の提供 ・図書館間の相互貸借や公立図書館等との連携・協力 | | 講義 |
| 6 学校図書館の活動 | 60 | ・読書活動の意義と推進 ・教育課程の展開に寄与する学校図書館 ・学校図書館活動の内容と方法 | | 講義 |

| | | | | |
|----------------------------|------|-----|----|-------|
| II 図書館資料・情報の管理と活用講習 | 総時間数 | 4時間 | 形式 | 講義・演習 |
|----------------------------|------|-----|----|-------|

ねらい： 図書館業務に必要な基礎的な情報技術の知識や、資料の組織化に関する技術を習得し、学校図書館担当職員として必要な資質能力の向上を図る。

| テーマ | 分数 | 内容 | 留意事項 | 型式 |
|--------------------------------|----|--|----------------------|-------|
| 1 コレクション形成の理論と方法① | 75 | ・書誌データ ・主題分析と分類法の基礎（NDC） | 事前課題あり（参考テキストを配付します） | 講義 |
| 2 コレクション形成の理論と方法② | 75 | ・分類法（NDC）と請求記号、別置 | | 講義・演習 |
| 3 情報技術と現代社会 情報資源の発達と図書館サービス | 90 | ・情報技術と社会 ・ネットワークの基礎（検索エンジンのしくみ、データベースのしくみ） ・図書館における情報技術活用の現状 ・コンピュータシステムの管理 ・図書館業務システムのしくみ ・電子資料の管理 | | 講義・演習 |

| | | | | |
|----------------------------------|------|-----|----|-------|
| III 学校図書館担当職員が知っておきたい学校教育 | 総時間数 | 4時間 | 形式 | 講義・交流 |
|----------------------------------|------|-----|----|-------|

ねらい： 学校教育や児童生徒の心身の発達などの基本的事項について理解を深める。

| テーマ | 分数 | 内容 | 留意事項 | 型式 |
|-------------------------|----|---|--------------------|-------|
| 1 学校教育の意義と目標 学習指導要領等 | 60 | ・学校教育の意義と目標、教育行政 ・公教育の歴史、関係法規 ・学習指導要領の構成 ・学習指導要領と教育課程 ・教材としての教科書 ・一斉授業、学習形態の諸類型、探究的な学習 | | 講義・交流 |
| 2 児童生徒の心身の発達と学習過程 | 60 | ・学齢期における子どもの発達段階の特徴 ・発達心理学や教育学の諸理論 A：乳幼児～小学生 B：中学生～高校生 | A・Bどちらかを選択（両方受講も可） | 講義 |
| 3 特別支援教育の現状と課題 | 60 | ・発達障害の理解と支援 ・特別支援教育をめぐる関係法規 ・インクルーシブ教育 | | 講義 |
| 4 現代の学校と地域課題 | 60 | ・不登校、いじめ、子どもの貧困 ・社会教育・家庭教育 ・教員以外の専門職や地域との協働（チーム学校） | | 講義・交流 |

| | | | | |
|--------------------------|-------------|------------|-----------|--------------|
| IV 学校図書館サービス力向上講習 | 総時間数 | 6時間 | 形式 | 講義・演習 |
|--------------------------|-------------|------------|-----------|--------------|

ねらい：学校図書館における児童生徒及び教職員への各種サービスの特性を理解し、適切に資料・情報を提供できる能力の向上を図る。

| | テーマ | 時間数 | 内容 | 留意事項 | 型式 |
|---|-----------------------------|-----|--|--|-------------|
| 1 | 学校図書館の環境整備① | 75 | ・除架・除籍、補修 | | 講義・演習 |
| 2 | 学校図書館の環境整備② 広報・渉外活動 | 75 | ・展示・掲示 ・学校図書館だより（児童生徒向け、教職員向け） ・HPの活用、学校行事等との連携 | 学校図書館の情報交流あり | 講義・交流 |
| 3 | ガイダンス、レファレンス① | 60 | ・利用案内、資料・情報の提供 ・情報サービスの理論と実際 | 事前課題あり (事前課題をできるだけ完成 させて講義に出席してくださ い) | 講義 |
| 4 | レファレンス② | 90 | ・レファレンスコレクションの整備 ・メディア活用能力の育成 ・情報サービスと著作権 | | 講義・演習 |
| 5 | 児童生徒への読書支援・学習支援、 教職員への支援 | 60 | ・図書リスト、読書相談 ・情報サービスの提供による教材準備に関する支援や 探究的な学習の支援 ・授業の事例と学校司書の役割 | | 講義・ 事例紹介 |

| | | | | |
|-------------------------|-------------|------------|-----------|--------------|
| V 学習指導と読書指導力向上講習 | 総時間数 | 8時間 | 形式 | 講義・演習 |
|-------------------------|-------------|------------|-----------|--------------|

ねらい：児童生徒の発達段階に応じた読書指導の技能及び学習指導における学校図書館の活用方法について学び、教育課程の展開に寄与する学校図書館の担当職員として必要な資質能力の向上を図る。

| | テーマ | 時間数 | 内容 | 留意事項 | 型式 |
|---|---------------------------------------|-----|---|------------------------|-------|
| 1 | 読書の意義と目的 「子どもの読書活動」の推進 | 60 | ・読書の意義と目的 ・読書と心の教育、読書習慣の形成 ・児童生徒の読書（学校図書館）の現状 ・家庭・地域との連携 | | 講義 |
| 2 | 発達段階や個に応じた図書館メディアの選択、学校図書館メディア活用能力の育成 | 60 | ・利用目的に応じた様々な情報源 ・情報活用能力の育成支援 | | 講義 |
| 3 | 子どもの本の理解、評価 | 60 | ・子どもの本を評価する指標 ・ブックリストや書評の作成 A：～小学生 B：中学生～高校生 | A・Bどちらかを選択 (両方受講も可) | 講義 |
| 4 | 児童生徒と本をつなぐ方法① さまざまな方法 | 60 | ・読み聞かせ等 ・電子図書館の学校における活用 | | 講義・演習 |
| 5 | 児童生徒と本をつなぐ方法② さまざまな方法 | 60 | ・ブックトーク | | 講義・演習 |
| 6 | 児童生徒と本をつなぐ方法③ さまざまな方法 | 60 | ・地域とつながる様々な読書活動 | | 講義・演習 |
| 7 | 児童生徒と本をつなぐ方法④ 学習支援 | 60 | ・みちしるべ（パスファインダー） | | 講義・演習 |
| 8 | 児童生徒と本をつなぐ方法⑤ 学習支援、授業の実践事例 | 60 | ・授業計画案、学習指導案作成の支援 ・校種や教科、特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援 | | 講義 |

(別表)

令和6年度学校図書館担当職員講習日程表

| 講習名 | 月日 | 時間 | 時間(分) | 内容・テーマ | 実施方法 | 講師 |
|-------------|----------|-------------|-------|----------------------|------|----------------------|
| I 学校図書館基礎講習 | 7月24日(水) | 13:10-14:10 | 60 | 1 学校図書館の理念と教育的意義 | 講義 | 放送大学 客員教授 堀川照代氏 |
| | 7月24日(水) | 14:20-15:20 | 60 | 2 教育行政と学校図書館 | 講義 | 全国学校図書館協議会 |
| | 7月24日(水) | 15:30-16:30 | 60 | 3 学校図書館の経営 | 講義 | 学校図書館スーパーバイザー 野村邦重氏 |
| | 7月29日(月) | 13:10-14:10 | 60 | 4 学校図書館の施設・設備 | 講義 | 学校図書館スーパーバイザー 佐藤敬子氏 |
| | 7月29日(月) | 14:20-15:20 | 60 | 5 学校図書館メディアの類型と管理、提供 | 講義 | 学校図書館スーパーバイザー 大久保雅人氏 |
| | 7月29日(月) | 15:30-16:30 | 60 | 6 学校図書館の活動 | 講義 | 学校図書館スーパーバイザー 佐藤敬子氏 |

小計 360 (6時間)

| 講習名 | 月日 | 時間 | 時間(分) | 内容・テーマ | 実施方法 | 講師 |
|---------------------|---------|-------------|-------|---|-------|---------------------------|
| II 図書館資料・情報の管理と活用講習 | 8月2日(金) | 13:30-14:45 | 75 | 1 コレクション形成の理論と方法① | 講義 | 北海道学校図書館協会 前選定部長 山本裕子氏 |
| | 8月7日(水) | 13:30-15:00 | 90 | 3 情報技術と現代社会 情報資源の発達と図書館サービス 図書館業務システムのしくみ | 講義・演習 | 藤女子大学 准教授 平井孝典氏 |
| | 8月7日(水) | 15:15-16:30 | 75 | 2 コレクション形成の理論と方法② | 講義・演習 | 北海道学校図書館協会 前選定部長 山本裕子氏 |

小計 240 (4時間)

| 講習名 | 月日 | 時間 | 時間(分) | 内容・テーマ | 実施方法 | 講師 |
|---------------------------|----------|-------------|-------|--|-------|-----------------------------------|
| III 学校図書館担当職員が知っておきたい学校教育 | 8月21日(水) | 13:10-14:10 | 60 | 1 学校教育の意義と目標 学習指導要領等 | 講義・交流 | 北海道教育庁生涯学習推進局 社会教育課主任指導主事 米谷広美 |
| | 8月21日(水) | 14:20-15:20 | 60 | 2A 児童生徒の心身の発達と学習過程 A:乳幼児～小学生 | 講義 | 札幌学院大学 准教授 鈴木健太郎氏 |
| | 8月21日(水) | 15:30-16:30 | (60) | 2B 児童生徒の心身の発達と学習過程 B:中学生～高校生 ※AまたはBを選択(両方受講も可) | 講義 | 札幌学院大学 教授 村澤和多里氏 |
| | 8月28日(水) | 14:20-15:20 | 60 | 3 特別支援教育の現状と課題 | 講義 | 専修大学 教授 野口武悟氏 |
| | 8月28日(水) | 15:30-16:30 | 60 | 4 現代の学校と地域課題 | 講義・交流 | 北海道教育庁生涯学習推進局 社会教育課主査 国枝知 |

小計 240 (4時間)

| 講習名 | 月日 | 時間 | 時間(分) | 内容・テーマ | 実施方法 | 講師 |
|-------------------|----------|-------------|-------|---------------------------------|---------|-------------------------------------|
| IV 学校図書館サービス力向上講習 | 9月4日(水) | 13:30-14:45 | 75 | 1 学校図書館の環境整備①(除架・除籍・補修) | 講義・演習 | 北海道立図書館 総務企画部企画支援課 調整幹兼企画主幹 桑原裕子 |
| | 9月4日(水) | 15:00-16:15 | 75 | 2 学校図書館の環境整備②(展示・掲示) 広報・渉外活動 | 講義・交流 | 札幌市立屯田北中学校 学校司書 児玉優子氏 |
| | 9月11日(水) | 13:20-14:20 | 60 | 3 ガイドンス、レファレンス① | 講義 | 札幌聖心女子学院高等学校 司書 新田裕子氏 |
| | 9月11日(水) | 14:30-16:00 | 90 | 4 レファレンス② | 講義・演習 | |
| | 9月18日(水) | 13:30-14:30 | 60 | 5 児童生徒への読書支援・学習支援 教職員への支援 | 講義・事例紹介 | 札幌市立光陽中学校・星置中学校 学校司書 浅村麻姫子氏 |

小計 360 (6時間)

| 講習名 | 月日 | 時間 | 時間(分) | 内容・テーマ | 実施方法 | 講師 |
|------------------|-----------|-------------|-------|--|-------|-----------------------------------|
| V 学習指導と読書指導力向上講習 | 9月25日(水) | 13:30-14:30 | 60 | 1 読書の意義と目的 「子どもの読書活動」の推進 | 講義 | 札幌市立平岡公園小学校 司書教諭 山田佳子氏 |
| | 9月25日(水) | 14:45-15:45 | 60 | 2 発達段階や個に応じた図書館メディアの選択 学校図書館メディア活用能力の育成 | 講義 | 札幌市立光陽中学校・星置中学校 学校司書 浅村麻姫子氏 |
| | 10月1日(火) | 13:30-14:30 | 60 | 3A 子どもの本の理解、評価 A:～小学生 | 講義 | 絵本屋南風 店主 JPIC読書アドバイザー 出町南氏 |
| | 10月1日(火) | 14:45-15:45 | (60) | 3B 子どもの本の理解、評価 B:中学生～高校生 ※AまたはBを選択(両方受講も可) | 講義 | 北海道学校図書館協会 前選定部長 山本裕子氏 |
| | 10月8日(火) | 13:30-14:30 | 60 | 6 児童生徒と本をつなぐ方法③ さまざまな方法(地域とつながる様々な読書活動) | 講義 | 滝川市立図書館 館長 深村清美氏 |
| | 10月11日(金) | 13:10-14:10 | 60 | 4 児童生徒と本をつなぐ方法① さまざまな方法(読み聞かせ、電子図書館等) | 講義・演習 | JPIC読書アドバイザー 旭川市中央図書館 沼田陽子氏 |
| | 10月11日(金) | 14:20-15:20 | 60 | 5 児童生徒と本をつなぐ方法② さまざまな方法(ブックトーク) | 講義・演習 | |
| | 10月17日(木) | 13:30-14:30 | 60 | 7 児童生徒と本をつなぐ方法④ 学習支援(パスファインダー) | 講義 | 全国学校図書館協議会 学校図書館スーパーバイザー 佐藤敬子氏 |
| | 10月17日(木) | 14:45-15:45 | 60 | 8 児童生徒と本をつなぐ方法⑤ 学習支援、授業の実践事例 | 講義 | |

小計 480 (8時間)

総計 1680 (28時間)

障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業

障がい当事者の読書や図書館等の利用を支援するための啓発 実施報告書

1 実施要項

(1) 趣 旨

- ・障がいのある方も読書に親しむ機会の充実
- ・アクセシブルな図書等の活用を通じた、広く一般の方が障がい者への理解の促進
- ・障がい者の受入についての職員の理解の促進

(2) 実施施設

道立青少年体験活動支援施設ネイパル（深川、森、足寄、厚岸、北見）

(3) 実施時期

9月～1月

2 実施状況

(1) ネイパル深川 9月19日（木）～30日（月）



- ・事業名 ネイパル深川まつり
- ・実施期間 9月28日（土）
- ・参加者数 大人131人 子ども（中学生以下）149人
- ・事業の様子 休憩スペースの一部に図書スペースを設置し、気軽に本に触れることができるようにしたことで、参加者が休憩中に親子で本を読む様子が見られた。

(2) ネイパル森 9月24日（火）～10月4日（金）



- ・事業名 Team ネイパルそなえ隊
- ・実施期間 9月28日（土）～29日（日）
- ・参加者数 43人
- ・事業の様子 防災関連図書の展示コーナーを開設し、障がいの有無に関わらず読書を楽しむことが可能なアクセシブルな書籍の展示を行った。

(3) ネイパル足寄 10月1日（火）～13日（日）



- ・事業名 「食の宝箱～十勝のフードペアリング講座～」
- ・実施期間 10月5日（土）～6日（日）
- ・参加者数 大人15人 子ども2人（施設利用数 大人152人 子ども37人）
- ・事業の様子 エントランスホールにバリアフリー図書の展示コーナーを設置したことで、障がい当事者のほか、福祉関係者、学校関係者など、多様な参加者がバリアフリー図書を読む姿が見られた。

(4) ネイパル厚岸 11月7日（木）～15日（金）



- ・事業名 ネイパルオータムフェスティバル
- ・実施期間 11月9日（土）
- ・参加者数 大人77人 子ども217人
- ・事業の様子 オータムフェスティバルで読み聞かせや紙芝居のために訪れた参加者がバリアフリー図書を見たり、触ったりして楽しむ姿が見られた。特に触って楽しむことができる迷路が好評で、多くの参加者が挑戦していた。

(5) ネイパル北見 1月6日（月）～2月3日（月）



- ・事業名 極寒サバイバル ～防災AP～
- ・実施期間 1月11日（土）～12日（日）
- ・参加者数 大人10人 子ども10人
- ・事業の様子 冬季の災害を想定した車中泊体験及び避難訓練等を実施し、災害時に障がいのある方についても思いを馳せることができるように、ロビーにバリアフリーの本も展示して、障がい者理解に努めた。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・各ネイパルの主催事業に合わせて展示し、点字図書やLLブックを手にとることができる場を設けたことで、多くの参加者にバリアフリー図書を必要とする障がい当事者への理解の促進を図ることができた。
- ・バリアフリー図書コーナー（ブース）の設置場所を工夫することで、行政職員研修や学校宿泊研修等で施設を利用している人を対象にバリアフリー図書の普及啓発や情報提供をすることができた。

(2) 課題

- ・取組の輪をさらに拡げていくため、当事者団体などと連携し、当事者と共に学ぶ場を設定し、学びを深めていく必要がある。
- ・期間を設定した取組のほか、利用者や利用団体の求めに応じて、バリアフリー図書について学ぶことができる体制づくりが必要である。

Ⅲ 成果と課題

1 成 果

○社会教育・生涯学習担当者等の理解促進

これまで、障がい者支援は福祉分野の施策・取組と捉えられがちであったが、今年度の事業を通して、市町村教委等の社会教育・生涯学習担当者への障がい理解が深まり、障がい者の学びの支援において社会教育や生涯学習が重要な役割を果たすという意識の変容が見られた。これにより、分野横断的な視点で取組を推進する基盤が形成された。

また、障がい者の生涯学習を「特別なもの」として扱うのではなく、障がいの有無に関わらず、誰もが等しく学ぶ権利を持つという理念が広まり、障がい者の生涯学習推進についての考え方が共有された。

今後も社会教育・生涯学習担当者等の理解促進をさらに広げていくとともに、共生社会の実現に向けた進展を目指す。

○多様な主体の連携とネットワークの構築

教育、福祉、医療、高等教育機関、NPO団体等が連携して本事業を実施したことにより、多様な主体のネットワークが構築された。事業を実施した地域では、その効果が認識され、関係者の間で次年度以降も継続したいという前向きな意識が広まり、継続的な取組への期待が高まっている。

このネットワークを活用し、今後も多様な主体の連携の輪を広げながら、地域全体の学びの基盤を強化していく。

2 課 題

○障がい当事者、障がい当事者団体とのさらなる連携

事業への参画だけでなく、研修や学習会等への参加を促し、障がい当事者や障がい当事者団体と他の関係者が「共に学ぶ場」を設け、互いの視点や課題を共有しながら取組を進めていくことが重要である。

○学びの支援者の拡充

障がい者の学びの場の運営や支援において、行政職員の役割が大きく、民間の支援者や地域の専門家、ボランティア等、行政外からの協力が十分に確保されているとは言えない。様々な視点や経験を持つ多様な立場の人が学びの支援者として参加する機会や仕組みを整えていくことが必要である。

○特別支援学校等との連携、協力体制の構築

特別支援学校等との連携し、保護者を対象とした研修会を設定する等、生涯学習について理解を深めることによる、子どもたちの学校卒業後の学びを支える仕組みづくりが必要である。

○障がい当事者の読書や図書館の利用、読書環境の整備等に向けた取組の支援

障がい当事者の情報保障の機会の確保や情報格差の是正等、読書環境の整備に向けて、研修会等を通じて関係者の理解を深める必要がある。

また、その際には音声図書や点字図書、大活字本などのバリアフリー図書やアクセシブルな書籍、関連技術を実際に体験できる場を設け、具体的な体験を通して、障がい当事者のニーズに合ったツールやサービスを知ることができる機会を提供していくことが重要である。

令和6年度「障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業」実施報告書
令和7年(2025年)3月発行

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課
〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目 電話 011-204-5994